

基本情報



【年齢】
27歳
【出身地】
東京都東村山市
【転出元】
東京都中野区
【前職】
学生
【活動時期】
R3.4～ R6.4
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

東京で生まれ育ち25年が経った節目に、自分のいる環境を一度大きく変えたいと思いました。とはいえ、いきなり遠く離れた地へ行く度胸はない私は、東京からさほど離れていない山梨県に魅力を感じました。度々旅行で訪れていた山梨県の景色と空気が好きでした。インターネットで仕事の情報を収集すると韮崎市がヒットして、そこで地域おこし協力隊という制度を初めて知りました。地方へ移り住み、その地域に貢献できる仕事ができることが素敵だと思い、韮崎市の地域おこし協力隊に応募させていただきました。

今後の抱負・任期後の目標

まず2年間はここで空き家バンク業務を全うしようと考えている。そして3年目の任期最終年となる来年度は、もちろん空き家バンク業務をやりつつも、韮崎市での1年半の移住生活を経て見つけた自分の好きなこと・やってみたいことにも力を注いでいきたい。
空き家の仕事をしているからと言って、この先もずっと空き家や不動産に関連した仕事をするつもりはない。地域おこし協力隊の活動と移住生活の経験から得た「なんでもチャレンジできる」という自信を大切にしたい。

活動内容

●空き家バンク登録・内覧のための現地立ち会い

空き家バンクに登録希望の物件の現地確認を、所有者・宅建業者とともに行う。補修が必要な箇所や程度、周辺環境や眺望などを確認し、物件としてのアピールポイントを考える。それを利用希望者へ、問い合わせがあったときや、内覧に同行した際にお伝えする。



●不動産所有者セミナー・個別相談会の実施

空き家バンク登録促進に向けて、今年度から所有者を対象に毎月個別の相談会を実施した。9月には宅建協会より講師を招き、空き家所有のメリット・デメリットなどについて講演していただいた。このような講演を聞くことで自身の空き家問題がより身近なものになり、空き家解消につながっていくと思う。



●空き家バンク補助金の事務処理

空き家バンクは所有者・成約者どちらにも補助金や奨励金があるので、登録件数と成約件数が増えると補助金の交付処理の作業も増える。
用意してもらう書類や記入してもらう書類が何種類もあるので、不備のないよう、補助金利用者との密なやりとりが必要。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
MAIL : yusuke.moriyama@city.nirasaki.lg.jp
TEL : 0551-22-1111 (内線359)